

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和3年度 第1回 佐渡市地域公共交通活性化協議会
開催日時	令和3年4月8日(木) 13時30分開会 14時30分閉会
場所	両津地区公民館3階 会議室
議題	(1) 報 告 ①協議会委員(市長が指名する者)の追加について ②令和2年度 バス路線の現状等について ③令和2年度 事業報告及び収支決算について ④令和2年度 監査報告について (2) 協 議 ①令和3年度 事業計画(案)及び収支予算(案)について
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席委員	<ul style="list-style-type: none"> ・佐渡市 副市長 伊貝 秀一 ・佐渡市 総合政策監 日坂 仁 ・新潟交通佐渡(株) 代表取締役専務 村山 優樹 ・佐渡地区ハイヤー協会 副会長 佐藤 和彦 (代理:事務局長 竹内 由記雄) ・佐渡汽船(株) 本社統括課長 金子 吉光 ・新潟交通佐渡労働組合 執行委員長 金子 秀道 ・北陸信越運輸局新潟運輸支局 首席運輸企画専門官 島谷 尚之 (代理:首席運輸企画専門官 佐久間 敏之) ・新潟県佐渡地域振興局 地域整備部長 長谷川 文麿 (代理:計画調整課長 中林 隆宏) ・佐渡警察署 署長 渡辺 哲郎 (代理:交通管理係長 高杉 裕司) ・佐渡市社会福祉協議会 常務理事 塚本 寿一 ・佐渡市老人クラブ連合会 副会長 本間 武雄 ・佐渡市女性団体連絡協議会 会長 石川 弘子 ・佐渡観光交流機構 常務理事 加藤 透
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	0名
備考	報道機関 1社

会議の概要(発言の要旨)	
発言者	議題・発言・結果等

伊貝会長	<p>《開会》</p> <p>開会挨拶</p> <p>本日の会議では、令和2年度の事業報告と決算報告、そして令和3年度の事業計画案と予算案についての協議を行います。</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルスの影響によって航路、陸路ともに交通機関は大打撃を受けており、今もその影響は続いておりますので、国や県の支援対策に加えて、佐渡市としても感染拡大防止対策に努めながら、交通機関の利用促進に係る支援などを令和3年度も引き続き取り組んでまいります。</p> <p>一方で、年々利用者が減少する島内の地域公共交通を今後どうしていくか重要な課題です。これまで取り組んできたバスの利用促進の継続はもちろんですが、デマンド方式の乗合タクシーの導入など、バスとタクシーによる交通網の形成も持続可能な地域公共交通に必要な視点になるものと考えております。</p> <p>限られた時間ではありますが、皆様からご発言をいただき、今後の交通施策に反映してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
事務局長 十二	<p>(会議の成立について)</p> <p>佐渡市地域公共交通活性化協議会設置要綱第5条第2項により、協議会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができないとなっている。当協議会の委員は16名、本日の出席委員は13名であり、会議が成立することを報告。</p>
事務局 森田	<p>議事</p> <p>(1) 報告</p> <p>①協議会委員（市長が指名する者）の追加について 資料No.1に基づき説明</p> <p>②令和2年度 バス路線の現状等について 資料No.2に基づき説明</p> <p>③令和2年度 事業報告及び収支決算について 資料No.3に基づき説明</p>
加藤委員 (監査委員)	<p>④令和2年度 監査報告について 資料No.4に基づき説明</p> <p>(質疑なし)</p>
伊貝会長	<p>新型コロナの影響により輸送人員が大幅に減少したが、公共交通機関として感染症対策の実施状況や感染拡大当時と現在とでバス利</p>

<p>村山委員</p>	<p>用者に変化などの情報があれば、ご紹介していただきたい。</p> <p>人口減少に伴い、バスの利用者は右肩下がりという傾向が続いているが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響で、島外から全くお客様がいらっしやらない状況が数か月続いた。そのため佐渡汽船からの乗り継ぎが多い本線で利用者が激減した。廃止代替路線においても外出自粛の影響で島民の利用が低迷している状況。</p> <p>貸切バスについても同様で、県外からのツアー等も全く催行されず稼働なしという状況が続いたが、10月から12月半ば頃まではGoToトラベル等により若干回復した。年末以降は新型コロナの再流行により低迷が続いている。国県市の助成制度を活用しながら路線を維持していきたい。</p>
<p>佐藤委員 (代理：竹内)</p>	<p>ハイヤー協会は6社が加盟。島外からのお客様が減少しており、バスと同じような状況となっている。島民の通院等での利用も少なくなっている。タクシーも公共交通の一部として、関係機関と連携しながら利用者増加に繋げて行きたい。</p> <p>(質疑なし)</p>
<p>事務局 森田</p>	<p>(2) 協 議</p> <p>①令和3年度 事業計画(案)及び収支予算(案)について 資料No.5に基づき説明</p>
<p>加藤委員</p>	<p>宿根木線のグリーンスローモビリティ導入について、従来計画していたヤマハの車両のイメージか。またスケジュール感についても教えて欲しい。</p>
<p>事務局長 十二</p>	<p>グリーンスローモビリティはゴルフ場のゴルフカートのようなもので、昨年は7人乗りを要望し今年度も同じものを考えている。時速20km未満で小木港から宿根木までゆっくり走る。観光客に利用してもらうため、出来るだけ観光シーズンに合わせた実証運行を目指していきたいと考えている。</p>
<p>島谷委員 (代理：佐久間)</p>	<p>わたつデマンドバス運行について、昨年度のアンケートの結果から運行時間の改善に関する意見がある。限られた運行の中で、利用者のニーズや動向の分析が必要ではないかと考える。事務局で把握しているものがあれば教えて欲しい。</p>
<p>事務局長 十二</p>	<p>頻繁に利用された方で、公民館活動の時間に合うような時間設定</p>

<p>金子委員</p> <p>事務局長 十二</p>	<p>が出来ないかと要望があった。利用率も上がるため5月からの実証では調整したいと考えていたが、羽茂から乗り換えて中心部へ向かうバスとの接続は維持していきたい。反対に中心部から羽茂へ着いた際に乗換えができるものも崩したくない。利用者の要望も理解できるが、時間帯を見極めながら進めていきたい。</p> <p>・・・令和3年度事業計画（案）及び収支予算（案）について 承認・・・</p> <p>（その他）</p> <p>新潟交通で運転手をしているが、道路管理者側をお願いしたいことがある。令和3年1月初頭結構な降雪があったが、窪田、沢根の旧道31号線の区間、どうしても歩道があるが故に路側帯まできちっと雪をかくのも大変だったと思うが、道路幅員が非常に狭く、運行が厳しかったと乗務員からの声が多くあった。</p> <p>同じような経路が両津地区の若宮通、両津支所から監督署までの間。前から来る車との交差が非常に大変だった。同じく両津の海岸通、夷本町バス停付近、上町十字路近辺から本線350号線吉井までの区間。極力時間遵守で走っているが、幅員が狭く運行上非常に厳しかった。久しぶりの大雪で仕方がないかもしれないが、ある程度の幅員を確保した除雪であれば乗務員としては非常に助かるという意見が多くあった。今後ご検討いただきたい</p> <p>担当部署に要望があったことを伝えます。</p> <p>《14：30 閉会》</p>
----------------------------	--